

令和元年度 事業報告書



社会福祉法人 南小国町社会福祉協議会

阿蘇やまびこネットワーク



きよらの郷 もやいで つなぐ 福祉の輪

— 目 次 —

はじめに	4
令和元年度重点目標	5
法人運営事業	
1. 法人運営事業	6—11
2. 公共施設の管理運営事業	12
3. 地域支え合い活動の推進	13—17
4. 人材・福祉文化の醸成	17—21
5. 役場・社協・関係機関の一層の連携	22—26
6. 在宅福祉サービス事業	27—29
7. 各種団体等の事務受託と活動への協力・支援	29—31
8. 居宅サービス事業（介護保険・介護予防日常生活支援総合事業・障がい者総合支援法） 地域包括支援センターへの出向	32—35
9. 資料集	
南小国町の福祉概況福祉環境	36

報告書の構成について

- はじめに
- 重点目標：令和元年度事業計画 重点目標です。

—報告書の見方—

大枠の事業名 (担当部門名)

事業名	事業目的	事業概要
小枠の事業名 【担当部署】	事業実施の目的です。	事業の詳細等を記載しております。

地域支え合い活動の推進



ふれあいサロン活動の推進の推進

人材育成と福祉文化の醸成



福祉ボランティア教育の推進
障がいに対する正しい理解の啓発

行政・社協・関係機関の一層の連携



南小国町民生委員児童委員活動の推進



高齢者の生きがいと健康維持増進
高齢者ミニデイサービス事業



ボランティア活動の推進
中学生向けボランティア基礎講座



子育て支援 ふれあいサロン 福祉共育
を組み合わせた事業

《はじめに》

現在、世界各地で新型コロナウイルスの感染が蔓延し、日本国内においても初めて全国に緊急事態宣言が発令されるなどこれまでにない未曾有の事態が発生し、全国民をあげて拡大防止と終息にむけて取り組んでいる状況のなか、令和元年度（平成31年度）も南小国町と本会が協同して策定した、南小国町の地域福祉（地域の支え合い活動）を推進していく『第2期 南小国町地域福祉総合実践計画』（以下計画という。）に基づき、「地域福祉推進の中核的な役割を担う団体」として地域福祉活動の推進、南小国町や高齢者等の地域包括ケアを担う地域包括支援センターとの連携、居宅介護支援、訪問介護、通所介護等の介護サービス事業の提供など、本会の公共性・中立性を活かし、本会の目指す『町民の方々が共に支えあい、互いに助け合いながら安心して安全に暮らせる町』づくりの実現に向け、町民・行政・福祉関係者等と協力しつつ様々な事業に取り組みました。

また、在宅での看取り、生活困窮者対策、認知症対策、引きこもり対応、障がい児者支援、子育て支援など、福祉課題も複雑多様化し、社協職員に求められる専門性も高くなっているなか、強い使命感のもと、職員一丸となり、町民の皆様の様々なニーズに対応すべくいろいろな福祉、介護事業を展開しました。

更には、法令順守の理念のもと、介護保険事業等の適正運営を図りながら、なお且つ「安定した財政基盤がなければ事業の存続が危ぶまれる」との強い認識のもと、常に危機感を持って、更なる努力と町民に信頼される社協を目指し、お客様にとって質の高い福祉サービスを提供するため、職員のスキルアップ学習会の開催、各種研修会への参加や福祉・介護サービスの情報公開・情報発信等を行なうとともに、行政や医療福祉の各関係機関が連携して地域の多様な課題に協働する「小国郷医療福祉あんしんネットワーク」や「阿蘇やまびこネットワーク」の推進にも努めました。

しかし、熊本地震から4年が経過し、災害への備えの意識がやや薄らいでいますが、今も日本各地では大規模災害が発生しており、災害からの復興支援、災害発生時の避難誘導対応、地域を支える人材の確保など多くの課題があり、それらの課題への対応や、今後の大規模災害発生への備えを考えると、本会の存在や役割、本会が行ってきた避難行動要支援者の把握・支援や災害ボランティアセンターの設置訓練、福祉避難所開設などの取り組みも今後ますます重要になってくると思われますので、関係者が連携・協働して支援を進めるうえでも、一人ひとりの個の力のみで対応するのではなく情報を共有し、町民全体が互いに支え合って対応していくことが必要であると考えられます。

《重点目標》

- (1) 第2期南小国町地域福祉総合実践計画に基づき、地域福祉（地域支え合い活動）を推進していきます。地域福祉の担い手である町民・ボランティア、南小国町役場・福祉機関との連携に努め、要配慮者の把握や地区別ふくし座談会を中心とした「**地域支え合い活動の推進**」、IT等も取り入れた社協のイメージアップ戦略と広報の充実、ボランティアセンターの機能強化、新たな地域福祉サービスの開発などの「**人材育成と福祉文化の醸成**」、役場各課と社協の連絡会議、総合相談体制の充実、認知症の人を支える地域づくりなど「**行政・社協・関係機関の一層の連携**」と3つの地域福祉推進の柱に沿った事業を展開し、住民主体の安心・安全に暮らせる地域（まち）づくりを進めていきます。
- (2) 平成31年度は、南小国町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画とも調和をとりつつ、介護保険制度の総合支援事業や新しい地域づくりの推進（介護予防・生活支援の充実）などの動向にあわせ、地域包括ケアシステムの充実に向けた地域福祉を推進していきます。
また、平成30年4月の介護報酬改定により、今年度も介護保険事業各部門とも厳しい経営となることが予想されますが、公共性の高い本会としては、南小国町の実情を十分に分析し「高齢者等が安心して生活できる」を根底におきながら、お客様に寄り添い、職員の能力、所持資格を発揮した組織力や各種加算の取得による収益の向上を目指して、介護保険サービスの改善と質の向上に努めます。
- (3) 社会資源を活用したサービス開発に取り組み、地域に潜在する住民のニーズ・課題を早期に発見し、的確な福祉サービスの利用・支援へとつなげていけるようなワンストップ型の体制づくりに努めます。
また、高齢者に限らず障がい者や生計に課題のある方など、幅広い世代への対応が求められており、地域住民や役場、各関係機関と連携した全世代対応型地域包括ケアシステムの実現に向けて、安心して安全に住みなれた地域で暮らせるように支援する『阿蘇やまびこネットワーク』や『小国郷医療福祉あんしんネットワーク』事業を推進していきます。
- (4) 社協会費・寄付金・香典返し・共同募金の減少を反転させるべく、その用途を町民に広報して理解を深めるとともに「社協」のイメージアップ戦略を模索して会員の募集及び寄附金、共同募金運動を推進し、ファンドレイジング等で新たな資金確保策も検討して地域福祉の充実を図るための財源確保に努め、更には、介護保険事業者として事業の改廃・効率化を進め適切なサービス提供をおこなうことによって収益性を改善し、財政基盤の安定化を図り経営改善に努めます。



● < 法人運営事業 >

1. 法人運営事業 (担当部門 事務局)


事業名	事業目的	事業概要
<p>1 役員会・評議員会の開催 【総務】</p>  <p style="text-align: center;">第1回理事会</p>	<p>本会の運営と事業経営を適正に進めていくために法令に基づき必要な予算・決算、事業計画・事業報告等を審議・決定する会議等を開催します。</p>	<p>定款に基づき次の会議等を開催（会場：地域福祉センターりんどう荘）</p> <p>1 理事会</p> <p>第1回 令和元年年6月5日（水）13：30～15：25 第1号議案 平成30年度事業報告について 第2号議案 平成30年度法人会計決算報告及び監査報告について 第3号議案 平成31年度（令和元年度）法人会計第1次補正予算（案）について 第4号議案 辞任に伴う、後任評議員候補者（案）の推薦について 第5号議案 令和元年度第1回評議員選任・解任委員会の開催（案）について 第6号議案 令和元年度第1回評議員会の開催（案）について</p> <p>第2回 令和元年7月1日（月）13：25～13：50 第1号議案 新任期就任に伴う会長・副会長の選任について</p> <p>第3回 令和元年11月11日（月）10：00～11：25 第1号議案 令和元年度法人会計第2次補正予算（案）について 第2号議案 令和元年度第2回評議員会の開催（案）について</p> <p>第4回 令和元年11月21日（木）決議の省略（書面決議） 第1号議案 令和元年度第2回評議員の開催（案）について</p> <p>第5回 令和2年3月6日（金）13：30～15：25 第1号議案 令和元年度法人会計第3次補正予算（案）について 第2号議案 令和2年度事業計画（案）について 第3号議案 令和2年度法人会計予算（案）について 第4号議案 令和元年度第3回評議員会開催（案）について 第5号議案 令和2年度利益相反取引（双方代理を含む）予定について</p>

事業名	事業目的	事業概要
<p>1 役員会・評議員会の開催 【総務】</p>  <p>第1回評議員会</p>		<p>2 評議員会</p> <p>第1回 令和元年6月25日(火) 13:28~15:15 第1号議案 平成30年度事業報告について 第2号議案 平成30年度法人会計決算報告及び監査報告について 第3号議案 平成31年度(令和元年度)法人会計第1次補正予算(案)について 第4号議案 任期満了に伴う、新理事・新監事の選任について</p> <p>第2回 令和元年12月3日(火) 10:04~14:22 第1号議案 令和元年度法人会計第2次補正予算(案)について</p> <p>第3回 令和2年3月24日(火) 13:30~14:40 第1号議案 令和元年度法人会計第3次補正予算(案)について 第2号議案 令和2年度事業計画(案)について 第3号議案 令和2年度法人会計予算(案)について 第4号議案 辞任に伴う後任理事の選任について</p> <p>3 監事による監査の実施</p> <p>第1回 監事会(監査) 令和元年5月20日(月) 9:00~12:00 内容:平成30年度社協事業執行状況及び平成30年度社協会計の執行状況に関する会計帳簿、預貯金通帳等財務諸表についての監査を実施</p> <p>第2回 監事会(令和元年度 中間監査) 令和元年10月24日(火) 9:30~11:45 内容:令和元年度社協事業執行状況及び令和元年度社協会計の執行状況に関する会計帳簿、預貯金通帳等財務諸表についての監査を実施</p>


事 行 名	事 業 目 的	事 業 概 要
<p>1 役員会・評議員会の開催 【総務】</p>		<p>4 その他監査、調査、研修会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■令和元年度 南小国町監査 日時：令和元年 7月10日（水）10：35～11：47 内容：平成30年度の補助金にかかる監査を実施 ■令和元年度 小国郷福祉講演会 ※コロナ禍の為中止 日時：令和2年2月28日（土）13：30開会 内容：すべての人が互いを認め 支えあうために 講師：韓国慶州ナザレ園 宋美虎（ソン ミホ） 講師：自然を愛する会 阿南誠志 <p>5 評議員選任・解任委員会の開催 第1回 令和元年6月14日（金）9：28～9：48</p> <p>6 その他 ◇ 理事・評議員・監事の選任にかかる事務</p>
<p>2 福祉サービス苦情解決体制の整備 【総務】</p>	<p>本会が提供する福祉サービスに関する苦情への適切な対応により、福祉サービスに対する利用者の満足感を高め、適切な利用又は提供を支援し、利用者個人の権利を擁護するとともに、実施する福祉サービスの質の向上及び運営の信頼性を高めるために設置します。</p>	<p>本会の福祉サービス苦情解決規程に沿って以下の体制において対応した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 苦情解決責任者の設置 責任者 事務局長 2 苦情受付担当者の設置 担当者 各部門 管理者5名 3 第三者委員の設置及び委員研修 委員：高村宗二氏、平野康則氏、本田久子氏（任期 令和2年1月31日まで） ◇ 任期満了に伴う第三者委員の改選（任期 令和2年2月1日～令和5年1月31日） <u>新任（再任）委員：藤堂秀美氏、武田千加子氏、本田久子氏</u> ◇ 第三者委員研修：<u>実績なし</u> 4 第三者委員への報告会（苦情・事故・ヒヤリハット等の事例報告会） 令和元年度の各事業所の事故・ヒヤリハット・苦情等の現況報告については、コロナ禍のため書面による報告を行った。

事業名	事業目的	事業概要										
<p>3 南小国町地域福祉総合実践計画の推進</p> <p>【総務】 【地域福祉推進】</p>	<p>平成29年度に住民・役場と協力し策定した第2期『南小国町地域福祉総合実践計画』に基づき、地域福祉の充実を図ります。</p>	<p>1 南小国町地域福祉推進委員会の設置 第2期計画の進捗状況の確認と評価及び今後の推進方法への助言、計画内容の見直しと課題の整理を行う機関として、推進委員13名を委嘱し、推進委員会を開催しました。 ➤ <u>第1回 推進委員会</u> 令和元年7月25日 10:00~12:00</p> <p>2 南小国町との合同事務局の設置 計画推進のため、南小国町（福祉課）と協働して計画を推進した。 事務局会議 0回開催 ※福祉課・社協との会議 担当者会議 6回開催</p> <p>3 推進協力機関 地域福祉総合実践計画推進へのアドバイザーとして、ひとちいき計画ネットワークより助言・提案等をいただき事業推進に努めました。</p> <p style="text-align: right;">会議・事業等への出席・協力回数 8回</p> 										
<p>4 組織・職員の資質向上及び職員育成体制の整備</p> <p>【総務】</p>	<p>組織として多様化・高度化する現代社会・福祉課題に的確に対応できる体制を検討・模索・整理します。 また、社会人、組織人としての基本的な資質や、専門的な資質の向上をはかり、地域福祉推進を担える社協職員の育成を目指して計画的な職員育成を推進します。</p>  <p style="text-align: center;">職員勉強会</p>	<p>1 職員検討チームの設置（組織強化・業務改善の推進） 職員による検討チームを設置し、事業の改廃（スクラップ&ビルド）・業務内容の見直しなど、誰のために・何のために行っているのか常に問いかけながら全職員が認識しながら業務改善に努めました。 ● 毎月第1・3金曜日（17時開始）に職員全大会議を開催し、全体ミーティング及び各検討チームで会議を開催しました。<u>（18回開催）</u> 内容：事業計画・予算等の勉強会やヒヤリハット報告について検討会等通所介送料表、資格</p> <p>2 管理者会議の実施 局長・次長・係長・各部門の管理者の会議を月2回開催し、行事・事業内容の確認、課題等の検討を行なった。</p> <p>3 職員勉強会の実施（16:30~17:30） 各研修会等で学んだことの共有化・グループワーク・事例検討など、それぞれの専門性を学ぶとともに組織間の共通意識を高めた。</p> <p>4 職務を離れて行う育成(Off-JT:Off-the Job Training)の推進</p> <p>(1) 県社協福祉人材・研修センター主催の研修受講</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 社協職員新任職員研修（在勤3年未満の職員）</td> <td style="text-align: right;">1名受講</td> </tr> <tr> <td>2. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース</td> <td style="text-align: right;">1名受講</td> </tr> <tr> <td>3. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース</td> <td style="text-align: right;">1名受講</td> </tr> <tr> <td>4. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース</td> <td style="text-align: right;">1名受講</td> </tr> <tr> <td>5. 課題別研修 職場リーダーの伝える力向上研修会</td> <td style="text-align: right;">1名受講</td> </tr> </table>	1. 社協職員新任職員研修（在勤3年未満の職員）	1名受講	2. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース	1名受講	3. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース	1名受講	4. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	1名受講	5. 課題別研修 職場リーダーの伝える力向上研修会	1名受講
1. 社協職員新任職員研修（在勤3年未満の職員）	1名受講											
2. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース	1名受講											
3. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース	1名受講											
4. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	1名受講											
5. 課題別研修 職場リーダーの伝える力向上研修会	1名受講											




事業名	事業目的	事業概要
<p>4 組織・職員の資 質向上及び職員育成 体制の整備</p> <p>【総務】</p>  <p>職員勉強会 災害ボランティアセンター運営について学習会</p>		<p>(2) その他の職員研修等への参加推進 熊本県・老施協・県社協などが主催する外部研修についても、必要に応じて積極的に実施・受講した。</p> <p>(3) 阿蘇ブロック社会福祉協議会連合会 社協職員レクリエーション研修会への参加（15名参加） 期日 令和元年11月24日（日曜） 会場 阿蘇リゾートグランヴィリオンホテル 内容 ヨーガ療法でストレスケア</p> <p>(4) 研修等の受講歴の管理</p> <p>(5) 視察研修の受入・職員の派遣等 ①天草市倉岳町民生委員児童委員協議会（令和元年11月6日（水）13:30～14:30） ②阿蘇市社会福祉協議会 福祉教育スキルアップ講習会への職員派遣（令和2年1月30日）</p> <p>5 自己啓発の推進</p> <p>(1) 職員自身による自主学習会・研修会等への自主参加等の推進を図った。 社協組織内及び外部機関への学習会等への参加促進 （例）小国郷内福祉施設の学習会、各種会部機関の案内通知等の回覧</p> <p>(2) 資格取得支援 業務遂行に必要な知識や専門性の高い資格取得を支援し、資格取得による質の高い福祉サービスを提供できる職員の育成とモチベーション向上を図り、本会や職員に対する町民からの高い信頼の獲得（イメージ向上）を目指しました。</p> <p>(ア) 職務専念の義務免除・試験対策等による取得支援 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員など多くの職員が資格を取得することにより、本会や職員への信頼を得られ、職員の資質の向上が図られる資格については、積極的に取得を奨励し、試験やスクーリング、実習等の際の職務専念義務の免除等を行いました。</p> <p>(イ) 介護支援専門員更新の職員へは、職務扱いとして支援し、更新に係る費用を助成（1名更新） 主任介護支援専門員の職員へは、職務扱いとして支援し、研修に係る費用を助成（1名受講）</p> <p>(ウ) 資格取得への支援として、必要な学費・受講料等を貸付する資格取得資金等貸付規程に基づき貸し付けを行いました。 貸付実績 2件（19万6千円）（介護福祉士実務者研修受講費用として）</p> <p>(エ) 資格手当の拡充（新規） 給与等支給規程を改正し、新たな資格手当を整備した。</p>



事業名	事業目的	事業概要																		
<p>5 社協組織強化・ 財政基盤の強化</p> <p>【総務】</p>  <p>社協会費事業 地域福祉活動支援(ふれあいサロン活動)</p>	<p>法人組織として計画的な強化・経営基盤を固めるために職員一丸となって安定した自主財源の確保、公費助成の活用などの確実な増強に努めます。</p>	<p>1 組織・財政基盤の強化 地域福祉活動の充実を図るために、社協のイメージアップ戦略を模索し、社協会員制度の充実・共同募金配分金の増強や住民・企業・団体などの寄付金、ファンディングや収益事業の検討など主体的な財源確保のための努力と、介護保険事業の適切な経営管理と財政使途の見直しをはじめ、経費の有効的な活用によって、財政基盤の確立と整備に努めてきた。</p> <p>(1) 社協会費 町民の皆様が福祉に参加する制度として社会福祉協議会会費の拠出協力をお願いして、以下のような実績を得る事が出来た。</p> <table border="1" data-bbox="846 478 2136 600"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会費実績</td> <td>568,500</td> <td>527,500</td> <td>558,000</td> <td>506,000</td> <td>528,000</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>1,000</td> <td>△41,000</td> <td>30,500</td> <td>△52,000</td> <td>22,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 会費の実績・使途は社協だより等にて町民の皆様にご公開しています。</p> <p>(2) 寄付・香典返しの受付 寄付：141,500円(15件) 香典返し：1,045,000円(43件)</p> <p>(3) 公費助成などの確保及び増強、経費の有効的な活用・削減の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> イ) 介護職員処遇改善加算 ロ) 熊本県社会福祉振興基金助成金事業(熊本県社協 熊本県ボランティア活動推進事業) 250千円 ハ) 安心生活支援活動推進事業(熊本県社協) 200千円 ニ) 南小国町補助金 南小国町社会福祉協議会事業補助金 18,000千円 ホ) 南小国町補助金 地域福祉センター改修工事補助金 1,804,737円 ヘ) 南小国町補助金 南小国町地域福祉整備事業補助金 1,445,026円 ト) 日本財団・24時間TV福祉車両整備にかかる助成事業等へ申請(落選) <p>2 法人運営部会の設置(委員6名) 諸規程の事前審議及び職員育成や福祉サービス向上などに関して協議検討することを目的に設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 運営部会の開催：実績なし ➤ 委員の任期満了に伴う委員の改選 		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	会費実績	568,500	527,500	558,000	506,000	528,000	前年度比	1,000	△41,000	30,500	△52,000	22,000
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
会費実績	568,500	527,500	558,000	506,000	528,000															
前年度比	1,000	△41,000	30,500	△52,000	22,000															




2. 公共施設の管理運営事業 (担当部門 事務局)

事業名	事業目的	事業概要																												
<p>1 町有施設の指定管理者受託による管理・運営 【総務】</p>	<p>福祉を推進する事業を積極的に展開するとともに、町内の福祉センター、介護予防施設の利用促進を図り、ボランティア・福祉団体などの町民活動をより活発にし、町の福祉向上及び適切な管理運営に努める。</p>	<p>1 地域福祉センターりんどう荘の管理・運営 (指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日) 地域福祉センターりんどう荘では、通所介護事業、ふれあい福祉相談、各福祉団体等の会議、子育て支援等に利用していただき、以下の実績となった。</p> <table border="1" data-bbox="815 418 1924 560"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2">利用件数・利用者数</th> <th colspan="2">利用件数・利用者数</th> <th colspan="2">利用件数・利用者数</th> <th colspan="2">利用件数・利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>242件</td> <td>242件</td> <td>266件</td> <td>1755名</td> <td>292件</td> <td>2,217名</td> <td>274件</td> <td>1,959名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※通所介護事業の利用実績は、含まない。</p>					平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		利用件数・利用者数		利用件数・利用者数		利用件数・利用者数		利用件数・利用者数		242件	242件	266件	1755名	292件	2,217名	274件	1,959名
平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度																								
利用件数・利用者数		利用件数・利用者数		利用件数・利用者数		利用件数・利用者数																								
242件	242件	266件	1755名	292件	2,217名	274件	1,959名																							
 <p>子育て広場き☆ら☆ら 人形劇 (赤い羽根共同募金配分金事業)</p>		<p>2 地域福祉センター清掃管理等 施設利用者が利用しやすく、安心して利用していただく為に、日常の清掃や施設内の消毒等による環境整備に努めた。</p> <p>3 施設改修 施設利用者に利用しやすく、優しい施設にすべく改修工事をおこなった。</p> <table border="1" data-bbox="837 831 2080 1168"> <thead> <tr> <th>施工内容</th> <th>温泉送水ポンプ・漏水改修工事</th> <th>カーテン取替改修</th> <th>玄関自動ドア改修工事</th> <th>LED照明取替改修工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工業者</td> <td>小国電業</td> <td>あぶらや</td> <td>熊本ナブコ</td> <td>ベスト IT ビジネス</td> </tr> <tr> <td>施工費用</td> <td>522,709 円</td> <td>1,007,705 円</td> <td>799,200</td> <td>1,676,504 円</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="3">町補助金1,804,737円 自主財源 524,877 円</td> <td>60 回分割払い</td> </tr> </tbody> </table>					施工内容	温泉送水ポンプ・漏水改修工事	カーテン取替改修	玄関自動ドア改修工事	LED照明取替改修工事	施工業者	小国電業	あぶらや	熊本ナブコ	ベスト IT ビジネス	施工費用	522,709 円	1,007,705 円	799,200	1,676,504 円	備考	町補助金1,804,737円 自主財源 524,877 円			60 回分割払い				
施工内容	温泉送水ポンプ・漏水改修工事	カーテン取替改修	玄関自動ドア改修工事	LED照明取替改修工事																										
施工業者	小国電業	あぶらや	熊本ナブコ	ベスト IT ビジネス																										
施工費用	522,709 円	1,007,705 円	799,200	1,676,504 円																										
備考	町補助金1,804,737円 自主財源 524,877 円			60 回分割払い																										
		<p>4 福祉避難所の運営及び避難所の開設に向けた体制整備 災害が発生した際に、高齢者、障がい者、乳幼児その他特に配慮を要する者が安全に避難生活できるように福祉避難所の設置・運営体制について南小国町との協議に努めた。</p> <p>※福祉避難所については、南小国町との協定は未締結であるが、災害に応じた柔軟な対応ができるように、引き続き南小国町と協議し適切な体制整備に努めた。</p>																												

3. 地域支え合い活動の推進 (担当部門 事務局)

事業名	事業目的	事業概要															
<p>1 ふくし座談会等の開催 【地域福祉推進】</p>  <p>杉田地区ふくし座談会</p>	<p>今後自分たちの地域を考え、支え合いを行っていくことの出発点として、住民自らの支え合い活動の必要性への気づきと活動の支援を行います。</p>	<p>1 ふくし座談会等の開催 自分たちの地域を考え、支えあい活動への気づきを支援していくため、防災福祉マップづくり、認知症等をテーマとした座談会を開催し、住民主体の地域福祉活動につながるよう座談会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="1003 384 2123 794"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>日時</th> <th>参加者・内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>黒川地区</td> <td>令和元年9月18日 13時30分～15時00分</td> <td>参加者 14名 地域福祉・認知症学習 いきいき100歳体操の体験</td> </tr> <tr> <td>杉田地区</td> <td>令和元年9月19日 13時30分～15時00分</td> <td>参加者 13名 地域福祉・認知症学習 いきいき100歳体操の体験</td> </tr> <tr> <td>馬場地区</td> <td>令和元年11月4日 10時00分～11時30分</td> <td>参加者 39名 地域福祉・防災学習 災害食の試食</td> </tr> <tr> <td>矢津田上地区</td> <td>令和2年3月10日 18時～19時</td> <td>地域福祉・防災福祉マップづくり ※コロナ禍の為 中止</td> </tr> </tbody> </table>	地区	日時	参加者・内容	黒川地区	令和元年9月18日 13時30分～15時00分	参加者 14名 地域福祉・認知症学習 いきいき100歳体操の体験	杉田地区	令和元年9月19日 13時30分～15時00分	参加者 13名 地域福祉・認知症学習 いきいき100歳体操の体験	馬場地区	令和元年11月4日 10時00分～11時30分	参加者 39名 地域福祉・防災学習 災害食の試食	矢津田上地区	令和2年3月10日 18時～19時	地域福祉・防災福祉マップづくり ※コロナ禍の為 中止
地区	日時	参加者・内容															
黒川地区	令和元年9月18日 13時30分～15時00分	参加者 14名 地域福祉・認知症学習 いきいき100歳体操の体験															
杉田地区	令和元年9月19日 13時30分～15時00分	参加者 13名 地域福祉・認知症学習 いきいき100歳体操の体験															
馬場地区	令和元年11月4日 10時00分～11時30分	参加者 39名 地域福祉・防災学習 災害食の試食															
矢津田上地区	令和2年3月10日 18時～19時	地域福祉・防災福祉マップづくり ※コロナ禍の為 中止															
<p>2 南小国町やまびこネットワーク活動 【地域福祉推進】</p>  <p>(やまびこ君)</p>  <p>志津なかよし会</p>	<p>誰もが安心して、安全で快適に暮らせるよう、何らかの支援が必要な方々に近隣の住民が声かけや見守りなどの活動を展開する『南小国町やまびこネットワーク活動』を町民の方々の理解と協力を得て事業推進を図ります。</p>	<p>1 やまびこネットワーク見守り会議の実施 南小国町（福祉課）・地域包括支援センター・民生委員児童委員（主任児童委員）と協力し、各民生委員児童委員（主任児童委員）担当区域ごとの状況把握と見守りMAPの確認をした。 <u>実績15回開催</u></p> <p>2 各地区の小地域ネットワーク活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> □ コスモス会（シルバーヘルパー）による地域の要配慮者の見守り活動の推進 □ 民生委員と連携しての要配慮者等の実態把握及び見守り支援 □ 地域福祉活動促進助成事業（赤い羽根共同募金配分金）<u>13箇所 計24万5千円助成</u> （吉原自治会、立岩自治会、志津ふれあいサロン、馬場自治会、里すこやかクラブ、竹の熊おしゃべりカフェ、新町ピンコロリ会、脇戸地区あすなる会、本町さくら会サロン、赤馬場すみれ会、さくら荘カフェ、いきいきサロン下中原、志津なかよし会） □ 連絡会議・ふれあいサロン（当事者活動）等の地域福祉活動の支援 [地域福祉活動地域] ※本会調べ 湯田地区、瓜上上下地区、上中原地区、扇地区、黒川地区、中湯田地区、赤馬場すみれ会 白川地区（たんぼぼ会）、新町ピンコロリ会、吉原自治会、立岩自治会 竹の熊おしゃべりカフェ、里すこやかクラブ、馬場自治会（いちようサロン、森園サロン） 脇戸あすなる会、上杉田自治会、志津自治会、本町さくら会、さくら荘カフェ、和田瓜上 楽笑会 いきいきサロン下中原、志津ふれあいサロン、志津なかよし会 															

事業名	事業目的	事業概要
<p>2 南小国町やまびこネットワーク活動 【地域福祉推進】</p>  <p>ふれあいサロン交流会</p>  <p>認知症カフェ ひとよこい (月2回 第1・3木曜 13時30分開催)</p>		<p>3 やまびこ見守り応援隊（事業者等への協力依頼） 小国郷内の事業所に対して、見守り活動への再依頼及びやまびこネットワーク連絡会議への参加依頼を行った。 【協力事業者】 九州電力日田営業所、佐川急便阿蘇営業所、ヤマト運輸小国センター、南北プロパン組合、熊日新聞販売店、肥後銀行小国支店、肥後銀行南小国出張所、熊本銀行小国支店、JA 阿蘇小国郷中央支所、小国町社会福祉協議会（陽なたぼっこ） 郵便局（杖立、北里、小国、南小国、中原簡易、黒川簡易）、町水道検針者</p> <p>4 やまびこネットワーク連絡会議の開催 やまびこネットワーク（見守り活動）への理解と地域住民・関係者等とのネットワーク強化を図ることを目的として開催予定であったが、<u>コロナ禍の為中止。</u> 開催日時：令和2年3月12日（木） 13：30～14：30 会 場：りんどう荘 参考予定：役場、地域包括支援センター、民生委員児童委員、主任児童委員、小国郷内ケアマネージャー、シルバーヘルパー、小国警察署、社会福祉協議会</p> <p>5 阿蘇ブロック社会福祉協議会連合会活動 阿蘇管内7市町村社会福祉協議会と連携し、阿蘇やまびこネットワーク活動を積極的に取り組みました。 （1）事務局運営への協力（総会1回、事務局長会議3回、企画会議7回） （2）阿蘇ブロック事業への参加 ① 事務局長・福祉活動専門員等研修 阿蘇ブロック社協職員レクリエーション研修会（令和元年11月24日） ② 阿蘇ブロック社会福祉協議会職員専門性強化研修会（令和2年2月25日） ③ 災害ボランティアセンター 災害時相互応援協定連絡網、備品の確認 ④ 阿蘇ブロック社協ホームページのリニューアル（令和2年度に開設予定）</p> <p>6 小国郷医療福祉あんしんネットワーク 小国郷において医療・介護が必要になっても、住み慣れた家や地域で生活するための医療・介護・福祉の連携体制づくりを関係機関と協働で進めてきました。 （1）世話人会への参加（12回）、全体会への参加（9回）、情報共有チームへの参加（6回） （2）小国郷医療福祉あんしんネットワーク住民フォーラムへの協力（令和元年11月30日） （3）認知症カフェひとよこい運営への協力</p>

事業名	事業目的	事業概要
<p>3 高齢者の生きがいと健康の維持増進と介護予防の推進 【地域福祉推進】</p> <p>※ミニデイサービス事業は、町保健師と連携して実施。</p>   <p style="text-align: center;">地域福祉活動 ひとり暮らし高齢者へ 手づくりお饅頭をお届け</p>	<p>元気な高齢者から虚弱な高齢者や自宅に閉じこもりがちな高齢者を対象に、要介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活を送れ、住み慣れた地域で地域住民同士で支えあい、元気に暮らせるよう支援していくことを目的として実施します。</p>	<p>1 高齢者ミニデイサービス事業（単位老人クラブ及びふれあいサロンと連携して開催） 地域の集会所や公民館等の身近な場所を利用して、保健師による健康相談、認知症予防、レクリエーション、いきいき100歳体操、ニュースポーツ（ペタンクなど）、出前講座、お茶会などを開催し、高齢者の介護予防及び予防医療の推進を図った。 また、運動機能の維持と運動意欲喚起を目的に気軽にスポーツを楽しめる『やまびこカップ事業』を新たに取り組んだ。 (1) 時期 通年 (2) 会場 各地域の集会所・公民館等（14か所） (3) 開催 30回 (4) 参加者 355名（延べ） ※ボランティア登録8名（延べ30名活動）</p>  <p style="text-align: center;">やまびこカップ事業 競技種目ジェンガ</p> <p>2 ふれあいサロン活動の推進 住民主体のふれあいサロンが積極的におこなわれるように支援に努めた。 (1) ふれあいサロン実施地区への活動費助成（11か所） (2) ふれあいサロン活動の情報発信（りんどう76号、社協便り4・10月号） (3) ふれあいサロン新規設立等の活動支援（いきいきサロン下中原、馬場自治会（森園サロン）） (4) ふれあいサロン交流会の開催 開催日時：令和元年11月22日（金）10時～正午 参加者：42名 会場：南小国町自然休養村管理センター2階 企画運営：社協、南小国町（福祉課）、地域包括支援センター</p> <p>3 きらきら健康ウォーキング大会への協力（台風の為中止） ボランティアグループ『子どもに夢をはこぶ会』の主催する健康づくりイベント 小国町社会福祉協議会と共同で支援し、健康づくりを推進しました。 開催日：令和元年9月21日（土）10時～正午 内容：肥後銀行小国支店駐車場をスタート・ゴールとして約往復14kmを歩く</p> <p>4 老人クラブ活動への支援 詳細は、後述 30ページ 老人クラブ連合会の事務・事業への支援を参照</p>
<p>4 地域の福祉活動支援 【地域福祉推進】</p>	<p>地域支えあいにつながる地域の年中行事等のなかで福祉に関する気配りを加え地域支えあいにつなげます。 また、世代間、住民間の交流を促進し、地区住民全員が関わられるような地域交流の支援をおこないます。</p>	<p>1 地域福祉（支えあい）活動促進助成事業（赤い羽根共同募金配分金事業） 助成カ所 13カ所（目標値 15カ所） 計24万5千円助成 （吉原自治会、立岩自治会、志津ふれあいサロン、馬場自治会、里すこやかクラブ、竹の熊おしゃべりカフェ、新町ピンコロリ会、脇戸地区あすなろ会、本町さくら会サロン、赤馬場すみれ会、さくら荘カフェ、いきいきサロン下中原、志津なかよし会）</p> <p>2 交流活動等に必要な備品の貸出とリスト表の作成と周知 住人相互の交流活動の推進に寄与することを目的に、社協にて管理する交流活動等に貸出可能な備品等を整理し、分かりやすい周知に努めた。</p>

事業名	事業目的	事業概要		
<p>5 防災活動支援 【地域福祉推進】</p>  <p>馬場地区 防災学習会の支援</p>	<p>住民の自主的な防災活動による安心・安全なまちづくりを役場と協力し、推進します。</p>	<p>1 災害ボランティアセンター設置準備（詳細：後述 21 ページ 災害ボランティアセンター設置事業を参照）</p> <p>2 職員の派遣・関係機関への協力要請（コーディネート） 地区福祉座談会の開催に合わせて、自主防災組織等の防災訓練を支援をした。 ・馬場地区（11月4日） ・矢津田上地区（災害時等の要配慮者の確認）</p> <p>3 防災訓練手引きの活用の推進及び更新の検討 南小国町と協同で作成した自主防災活動の手引きを積極的に活用し、自主防災組織の活動の推進を図った。</p> <p>4 AED 設置事業 地域防災力向上を図るため住民交流拠点等に AED（4 台）を設置し、地域防災力の向上を図った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <table border="1"> <tr> <td style="padding: 2px;">設置継続</td> <td style="padding: 2px;">立岩自治会 1 台 滝下常会 1 台</td> </tr> </table> </div> 	設置継続	立岩自治会 1 台 滝下常会 1 台
設置継続	立岩自治会 1 台 滝下常会 1 台			
<p>6 安心生活サポート 【地域福祉推進】</p>	<p>住民同士のちょっとしたお手伝いで、住み慣れた地域で安心して生活することに繋がり、地域の絆の再構築（強化）、支えあいの体制整備を目的として行います。</p>	<p>1 安心生活サポート事業の推進 ① 安心生活サポート（生活・買い物支援等）の推進（実績 0 件）</p>		
<p>7 福祉・健康学習支援 【地域福祉推進】</p>  <p>南小国中学生 認知症サポーター養成講座</p>	<p>子どもから高齢者まで全世代における福祉・健康づくりへの意識改革を推進します。</p>	<p>1 認知症サポーター養成講座等の開催推進 南小国町（福祉課）との共同で、認知症サポーター養成講座等の開催を推進 開催実績：3 回開催 （内訳：8/21 福祉事業所向け、10/17 町内小学校 5 年生、2/7 中学生 1 年生）</p> <p>2 福祉・健康学習会開催時への職員の派遣・関係機関への協力要請（コーディネート） 地域住民からの要請に応じて、職員の派遣及び関係機関への協力要請を調整した。 —実績— 町内小中学校、各ふれあいサロン、さくら荘カフェ、高齢者ミニデイサービスでの健康学習等を実施</p> <p>3 いきいき 100 歳体操の推進 南小国町（福祉課）と連携し、地域住民の健康増進を目的にいきいき 100 歳体操の普及を推進し、住民が主体的に毎週 1 回、健康増進及び地域住民との交流を目的とした取り組みが下記地区にて新規設立された。 【新規実施地区】①下中原地区 ②馬場自治会（森園地区 夜間の部）</p>		

事業名	事業目的	事業概要
8 地域福祉活動の事例の広報 【総務】 【地域福祉推進】	町内外の地域福祉（支え合い）活動の事例を紹介し、支え合い活動の充実を図ります。	1 活動事例の記録及び広報 (1) 町内の地域福祉活動事例の記録及び情報収集をい、社協だより月号・【りんどう】にて広く町民へ情報提供をおこない、活動の活性化を図りました。 (2) 広報活動の充実（詳細：後述 17 ページ 町民啓発活動事業を参照）

4. 人材・福祉文化の醸成（担当部門 事務局）

事業名	事業目的	事業概要
1 町民啓発活動 【総務】 【地域福祉推進】	町民に様々な福祉やまちづくり活動に関する具体的な情報及び町民がともに福祉やまちづくりについて考えあう機会を提供し、福祉やまちづくりについての理解や関心を深めてもらう。 また、町民に対しての社協事業の情報公開・福祉について分かり易く周知していきます。	1 広報活動・啓発活動 (1) 「社協だより」の発行 社協だより“りんどう” 年2回（夏・冬 75号、76号） 発行部数 1700部 社協通信 A3版（4・6・10・12・3月発行）発行部数 1700部 配布先：町内全戸配布・関係機関・団体 (2) みなみチャンネルを活用した広報活動（きよらニュースにて 21事業を放送） (3) ホームページの更新管理 (4) 文字放送・有線放送・チラシ等による情報提供（心配ごと相談、法律相談、講演会等） 2 福祉講演会等の開催 (1) 令和元年度 小国郷福祉講演会の開催（小国町社協との共同事業）※コロナ禍の為 中止 開催日時 令和2年2月28日（土） 13:30 開会 会場 サポートセンター悠愛 内容 すべての人が互いを認め 支えあうために 講師：韓国慶州ナザレ園 宋美虎（ソン ミホ） 講師：自然を愛する会 阿南誠志 (2) 第15回晴ればれりんどう ボランティアの日 の開催 開催日時 令和元年10月6日（日）8:30～11:30 内容 実行委員会の開催（3回）／住民への啓発 災害ボランティアセンター設置訓練／町内の美化活動／炊出し訓練等 参加者 400名（内：メイン会場 151名） 3 介護サービス情報公表【居宅介護、通所介護】 介護サービスの利用者・家族等が公表されたサービス事業所の情報を基に比較検討することにより、利用者等の主体的な事業者選択を可能にすることを目的としています。 (1) 介護サービス情報の公表制度に基づき、本会で実施している介護サービスの公表を実施した。



第15回晴ればれ りんどうボランティアの日

事業名	事業目的	事業概要
<p>2 ボランティアセンター機能の充実とボランティア活動の推進 【地域福祉推進】</p>	<p>南小国町におけるボランティア活動を推進するため、ボランティアセンターを地域福祉センター内に置き、運営においては、ボランティアの代表や各種機関・団体の代表を組織して連絡会議を開催し、町民参加のもとに町内におけるボランティア活動の充実を図っていきます。</p>	<p>1 ボランティア活動の基盤整備 南小国町内のボランティア活動が積極的、継続的に展開されるよう基盤整備を行った。</p> <p>(1) ボランティアの情報収集・情報発信 (みなみチャンネル・社協だより等 前述17ページ 町民啓発活動事業を参照)</p> <p>(2) ボランティアの登録・相談・需給調整 (登録数 32会員 (個人ボランティア含)) フードバンク・フードドライブ事業の検討</p> <p>(3) ボランティア活動のコーディネート (671件) ※1人1日の活動を1件とする</p> <p>(4) ボランティア・NPO等への助成金等の紹介 実績無し</p> <p>(5) ボランティア保険事務 (ボランティア活動保険・行事用保険等の受付) ボランティア保険 14件 (304名加入) ボランティア行事用保険 3件</p> <p>(6) ボランティア団体への助成事業 ①令和元年度ボランティア活動促進事業 実績 2団体 (助成総額 80,000円) 指定助成団体：きよらパトロール隊、子どもに夢をはこぶ会</p> <p>(7) ボランティア講習会 中学生向けボランティア講座 (基礎編) (令和元年7月17日) 32名受講</p> <p>2 なぜなの会 (南小国町ボランティア連絡協議会) の活動推進 現在活躍している様々な分野のボランティアが手を結び、連携をもって住みよい町づくり活動が維持できるような事業を推進した。又、ボランティア連絡協議会の開催等を通じて、ボランティア同士の交流や情報交換ができるように支援してきた。</p> <p>(1) 第15回 晴ればれりんどう ボランティアの日 実行委員会への参画</p> <p>(2) 社協・行政等の行事への参加・協力</p> <p>(3) 事務局の運営 ① 総会開催 (令和元年7月4日) 18名参加 ② ボランティア講習会の開催 (総会后) 小国郷の社会福祉施設を知ろう 講師：南小国町社会福祉協議会職員 ③ 役員会 (5回開催) ※晴ればれりんどうボランティアの日 実行委員会を含む ④ 災害炊き出し・土のう作り体験 (令和2年2月22日) ※悪天候の為中止</p> <p>3 子育てボランティア活動の充実と支援 子育て応援団ぽっかぽ家の活動充実を図った。</p> <p>(1) ぽっかぽ家連絡会議の開催 3回開催 (子育てボランティア 24名登録)</p> <p>-子育て応援団ぽっかぽ家の主な活動内容-</p> <p>① 子育て応援団連絡会議 (3回開催) ②春・夏・冬休み子どもデイサービスボランティア ③ 子育てサポート事業 (子どもの一時預かり) ④子どもデイサービス事業検討会議 (2回開催) ⑤ 子育てボランティア活動の活動意向調査</p>



なぜなの会 土のう袋詰め体験



子育てボランティア連絡会議

事業名	事業目的	事業概要
<p>3 福祉・ボランティア教育の推進 【地域福祉推進】</p>	<p>南小国町ボランティアセンター業務の一環として、一般町民・小中高の児童・生徒たちへの福祉教育や町民啓発を推進していきます。</p> <p>また、学校と地域が一体になって進める福祉教育のあり方を検討していく。また、「総合的な学習の時間」において福祉教育に取り組もうとする学校への支援を行っていく。地域や年齢層を越えた児童・生徒のボランティア意識の育成を図ります。</p>	<p>1 福祉共育（教育）の模索と実践 現在、福祉共育のあり方への関心が高まる中で、一般町民・子どもたちへの福祉共育の取り組みについて、現状や課題を把握するとともに今後の望ましい実践のあり方を模索しつつ実践した。 (1) 教育関係者・地域住民等と連携して、南小国町の情勢に応じた福祉学習を実践した</p> <ul style="list-style-type: none"> □南小国町福祉共育推進校連絡会議の開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> 第1回 令和元年5月27日（月）16：00～16：45（小中学校担当者 4名出席） 第2回 ※コロナ禍の為 中止 □福祉学習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ① 市原小学校4年生 戦時中の体験談、命や食べ物のお話、人を思いやる心などのお話 日時：令和元年6月28日（金）10：50～11：35 コミュニティパートナー 佐藤 英男さん ② 市原小学校4年生 社会の学習（地域防犯パトロール活動について） 日時：令和元年7月4日（木）10：50～11：35 コミュニティパートナー きよらパトロール隊 ③ 市原小学校4年生 点字の指導及び視覚障がいへの理解を図る 日時 令和元年9月1日（火）9：35～11：30 コミュニティパートナー 河津サワ子さん（点字指導など） 日時 令和元年9月26日（木）14：10～15：50 疑似体験学習（全盲、難聴） 講師 南小国町社会福祉協議会職員 ④ りんどうヶ丘小学校2年生 疑似体験学習（全盲、難聴） 日時 令和2年2月4日（火）14：15～15：30 講師 南小国町社会福祉協議会職員 ⑤ 南小国中学校全校生徒 福祉学習会 防災食ハイゼックス米づくり体験／減災学習クロスロード 日時 令和元年12月7日（土）8：50～9：30 講師 南小国町社会福祉協議会職員 ⑥ 中原小学校全校児童 「思いやりの心を持ち、たくましく実践する子どもの育成ー りんどう荘通所介護事業所ご利用者様との交流」 日時 令和2年3月6日（金）、令和2年3月11日（水） ※コロナ禍の為 中止 講師 南小国町社会福祉協議会職員 □夏休み子どもデイサービスでの福祉共育の実践と検証 □地域・社会福祉施設との交流・介護体験調整（中原楽、吉原神楽、市原獅子舞保存会、市原保育園、グループホーム森園、りんどう荘福祉サービスセンター）





コミュニティパートナー活動の推進
(戦時中の体験と命の大切さを伝える)






点字を学ぼう
(視覚障がい者への理解促進)



事業名	事業目的	事業概要
<p>3 福祉・ボランティア教育の推進 【地域福祉推進】</p>  <p>福祉共育(教育)推進 子ども達への福祉学習の充実(疑似体験)</p>  <p>チャレンジ小国 GO (福祉・ボランティア講習会)</p>		<p>2 福祉共育(教育)推進校事業 町内の小・中学校を福祉教育推進校として1年間指定し、児童・生徒に対する福祉教育の普及事業に取り組んでもらい、地域を基盤とした積極的な福祉教育の推進を図った。</p> <p>(1) 南小国町社協指定校</p> <ul style="list-style-type: none"> □指定校 市原小学校・中原小学校・りんどうヶ丘小学校・南小国中学校 □期 間 通年 □対 象 南小国町内すべての小中学校 □助成額 23万円(赤い羽根共同募金事業) <p>3 福祉共育(教育)への協力支援 地域行事、子ども会などの町民が集まる場所で、依頼に応じて福祉・ボランティアの体験講座や福祉講話などへの協力を行った。</p> <p>(1) 職場体験の受入れ(南小国中学校、小国中学校)</p> <p>(2) 小中学校総合的学習等への協力(前述 19ページ 福祉教育の模索と実践を参照)</p> <p>(3) 認知症サポーター養成講座の開催推進及び協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月17日(木) 町内小学校5年生 ・令和2年2月7日(金) 中学校1年生 <p>4 小中高生への福祉・ボランティア意識の高揚 現在、小中高生における福祉・ボランティア教育が頻繁におこなわれるようになり、将来を担う子ども達に対して、福祉・ボランティアの大切さを学び自発的に行動しようとする意識、ボランティアの楽しさ・大切さ・深さを涵養すること目的に下記の事業を行った。</p> <p>(1) 2019-2020 チャレンジ小国GO!(小国高校生福祉共育推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> □実施主体 南小国町社協/小国町社協 □協力機関 小国高校/子どもに夢をはこぶ会 □内 容 ①福祉・ボランティア学習会の開催(令和元年7月11日)全生徒対象 講師 NPO法人はあとスペース代表 福岡県飲酒運転撲滅活動アドバイザー 山本美也子氏 ②卒業生への福祉ボランティア表彰(20名) ③福祉・ボランティア体験12項目の実施 (ボランティア講習、手話学習、福祉施設体験、子どもデイサービス、障がい者交流等) <p>参加生徒 53名(延べ73名活動)(※1年間を通しての実績)</p>

事業名	事業目的	事業概要
 <p>中学生 子どもデイサービス ボランティア活動</p>		<p>(2) 中学生ボランティア体験事業 中学生が地域社会との交流の機会を持ち、様々な体験活動を通じて、福祉活動及びボランティア活動への理解・関心を深め、社会の中での連帯の意識を育む事を目的とする。</p> <p>—実績—</p> <p>① 子どもデイサービスでの児童の見守りと多世代間交流 参加生徒 <u>夏休み(27名)、冬休み(18名)、春休み(※コロナ禍の為活動中止)</u></p> <p>② 中学生ボランティア基礎学習(令和元年7月17日 16:30~17:30) 32名受講</p> <p>③ 第15回晴ればれりんどうボランティアの日への参加 <u>参加生徒 25名</u></p> <p>④ 卒業生 ボランティア表彰 <u>表彰生徒 26名</u></p>
<p>4 南小国町災害ボランティアセンター設置準備 【地域福祉推進】</p>  <p>災害ボランティアセンター設置訓練 (マッチングの様子)</p>	<p>大規模な災害が発生した場合には、速やかに災害ボランティアセンターを開設し、避難場所での被災者の日常生活支援や被災家屋の後片付け、救援物資の配布など災害救援のボランティア活動が円滑に進められるように開設のマニュアル見直しなどを行い災害の発生に備えます。</p>	<p>1 南小国町との連携</p> <p>(1) 災害発生時における相互支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 役場(福祉課、総務課)・社協担当者連絡会議の開催(令和元年5月14日) <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンター設置及び運営に関する南小国町との協定締結(更新) <p>2 熊本県社協と阿蘇ブロック社会福祉協議会連合会との連携</p> <p>(1) 県社協と阿蘇圏域での相互支援体制の整備と情報の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 令和元年度市町村ボランティアセンター運営強化推進会議への参加(令和2年2月28日) <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターマニュアルの整備及び職員への理解促進 <p>(2) 熊本県ボランティアセンター主催の災害ボランティアセンター運営研修会への参加</p> <p>3 南小国町社協職員の災害時の体制整備</p> <p>(1) 職員学習会の開催(内容:西原村社会福祉協議会の熊本地震から教訓)</p> <p>(2) 災害ボランティアセンター設置訓練(第15回晴ればれりんどうボランティアの日)</p> <p>4 地域住民への災害ボランティアセンター活動の啓発と災害への備えについての啓発</p> <p>(1) なずなの会(ボランティア連絡協議会)と協力しての啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害時炊き出し・土のう作り体験(南小国町駅伝大会との共催) <u>※悪天候の為中止</u> ② 第15回 晴ればれ りんどうボランティアの日の開催 <p>5 大規模災害による相互支援(九州ブロック社協他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度九州北部豪雨災害に伴う佐賀県大町町災害ボランティアセンターへの職員派遣(1名) 令和元年10月4日~8日 5日間 ・令和元年台風19号豪雨災害に伴う福島県いわき市災害ボランティアセンターへの職員派遣(1名) 令和元年12月13日~19日 7日間




5. 役場・社協・関係機関の一層の連携（担当部門 事務局）

事業名	事業目的	事業概要																								
<p>1 ふれあい福祉相談事業 【地域福祉推進】</p> 	<p>住民の抱える様々な生活・福祉問題に対し気軽に相談できる体制づくりをし、相談された問題は、確実に解決できるよう対応し、適切な相談機関の紹介を行います。</p> <p>又、町民のための効果的な開催方法を検討し、改善する。</p>	<p>1 心配ごと相談・行政相談・人権相談 相談員 行政相談委員・民生委員児童委員・主任児童委員・人権擁護委員 場所 地域福祉センターりんどう荘 時間 午前10時～正午 第3木曜（原則） 開設日数 5回 相談件数 2件（80分）</p> <p>2 無料法律相談の開催 （1）日時 令和元年 6月22日（土） 午前10時～正午（相談件数 7件） （2）日時 令和元年 8月30日（金） 午前10時～正午（相談件数 4件） （3）日時 令和元年12月 7日（土） 午前10時～正午（相談件数 5件） （4）日時 令和2年 2月21日（金） 午前10時～正午（相談件数 4件） 会場 南小国町地域福祉センター ※弁護士 肥後大津法律事務所（藤本弁護士）</p> <p>【心配ごと相談・法律相談内容内訳】</p> <table border="1" data-bbox="862 710 2094 997"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域との関係について</td> <td>2</td> <td>家族との関係について（離婚・生活・相続等）</td> <td>4</td> <td>消費者問題</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人権相談</td> <td>1</td> <td>金銭問題、債務について</td> <td>4</td> <td>生活、病気、障がい、健康のこと</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>税金や家賃やローンの支払いのこと</td> <td>1</td> <td>行政相談（道路、年金、役所手続き等）</td> <td>3</td> <td>その他</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 各種福祉相談への窓口を常時開設し対応した □福祉サービスについての苦情等受付 □在宅サービス利用について等</p> <p>4 総合相談体制の充実 町民の皆様が抱える課題も貧困・介護・認知症・子育てなど複雑多様化しており、そのような課題を抱える当事者（家族）の持っている力を最大限に引き出しつつ、支援していくことが大きな課題となっております。</p> <p>そのような課題を解決に導くことは非常に困難ではありますが、そのまま誰からの支援を受けることなく孤立させないような総合相談体制・地域包括ケア体制を検証・実践しつつ整備しました。</p> <p>（1）生活困窮者等自立相談支援事業の運営（県社協受託事業） 生活困窮者自立支援制度の相談支援業務を熊本県社会福祉協議会より受託し、町民の様々な生活課題に対応すべく、関係機関と連携し、困窮者等への相談支援業務に努めました。</p>	相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数	地域との関係について	2	家族との関係について（離婚・生活・相続等）	4	消費者問題	3	人権相談	1	金銭問題、債務について	4	生活、病気、障がい、健康のこと	2	税金や家賃やローンの支払いのこと	1	行政相談（道路、年金、役所手続き等）	3	その他	6
相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数																					
地域との関係について	2	家族との関係について（離婚・生活・相続等）	4	消費者問題	3																					
人権相談	1	金銭問題、債務について	4	生活、病気、障がい、健康のこと	2																					
税金や家賃やローンの支払いのこと	1	行政相談（道路、年金、役所手続き等）	3	その他	6																					

事業名	事業目的	事業概要																		
<p>1 ふれあい福祉相談事業 【地域福祉推進】</p> 		<ul style="list-style-type: none"> □ 総合相談窓口（相談支援員・就労支援員の配置） □ 新規相談件数 25件 [内本人同意あり 9件] □ 支援プラン作成件数 17件 □ 家計改善支援事業 10件 □ 就労準備支援事業 2件 □ 生活保護受給者等就労自立促進事業6件 ※ハローワーク就労支援 □ 自立相談支援事業による就労支援 7件 □ 学習支援、住居確保 各1件 □ 就労者数 2名 □ 支援調整会議への出席（10回） □ 南小国町消費者行政連絡会議への参加 □ ケース会議等の調整及び参加（適宜） □ 各種研修会等への参加 □ 町民への事業の周知及び町内関係機関との連携 □ 適正な事務処理（福祉事務所への提出書類、月次報告、全国統計システム入力管理など） <p>5 サポートセンター悠愛との連携（障がい者支援） 障がいを抱えている方々が、安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、サポートセンター悠愛と連携し支援に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）地域福祉権利擁護事業との連携 （2）相互連携による相談支援（同行訪問など） （3）生計困難者レスキュー事業との連携（生計困難者レスキュー事業への繋ぎ1件） 																		
<p>2 子育て支援事業 （赤い羽根共同募金事業） 【地域福祉推進】</p>  <p>子育てサポート事業</p>	<p>子育て中の家庭を支援し、子どもたちの健全育成を図り、誰もが安心して子どもを育てることのできる町づくりを目的として実施する。</p>	<p>1 子育てサポート事業の実施（共同募金配分金事業） 子どもを預かってほしい家庭（依頼会員）と子育てボランティア（協力会員）とが会員となり、冠婚葬祭・病気などで子どもをみれないときに協力会員が子どもを預かるサービス。</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）利用料 300円（土日祝日は100円増し）1時間当たり （2）内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 一時保育サポート ②会員の登録 ③子育てサポートのコーディネート・相談 （3）利用実績 4件 相談援助 3件 新規依頼会員 登録 2件 <p>子育てサポート事業 年度別利用実績</p> <table border="1" data-bbox="913 1329 1736 1437"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>利用時間</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	利用件数	0	1	1	2	4	利用時間	0	1	1	9	11
年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年															
利用件数	0	1	1	2	4															
利用時間	0	1	1	9	11															




事業名	事業目的	事業概要																								
<p>2 子育て支援事業 (赤い羽根共同募金事業) 【地域福祉推進】</p>  <p>子どもデイサービス事業 しめ縄づくり体験(井久米男様)</p>  <p>子どもデイサービス (初詣 野外活動)</p>		<p>2 子どもデイサービス事業(共同募金配分金事業)</p> <p>少子高齢化、核家族化が進み、休日に子どもだけで過ごしている家庭が増えてきています。家族が安心して仕事の出来る環境づくりと、世代間交流や様々な体験活動等を通して思いやりのある子どもの心を育てるお手伝いを目的として、子どもデイサービスを実施</p> <p>(1) 時期 夏休み 24日間 冬休み 7日間 春休み 11日間 <u>計42日間</u></p> <p>(2) 時間 8:30~17:30</p> <p>(3) 時間外 8:00~8:30 17:30~18:00 ※事務局職員が交代制で対応</p> <p>(4) 利用料 利用日数×500円</p> <p>(5) ボランティア 子育てボランティア、高校生、中学生、一般町民他</p> <p>(6) 実績 夏休み：児童 25名(延283名) ボランティア 66名(延164名) 冬休み：児童 18名(延93名) ボランティア 41名(延57名) 春休み：児童 10名(延54名) ボランティア 13名(延18名)</p> <p>子どもデイサービス 年度別(日数・児童・ボランティア数) 単位：人 ()内は延べ活動人数</p> <table border="1" data-bbox="855 852 2051 995"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日数(単位：日)</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>参加児童数(単位：人)</td> <td>69(813)</td> <td>57(607)</td> <td>78(741)</td> <td>53(532)</td> <td>53(430)</td> </tr> <tr> <td>ボランティア数(単位：人)</td> <td>140(336)</td> <td>132(280)</td> <td>159(350)</td> <td>135(264)</td> <td>120(239)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 子育て広場 き☆ら☆らと地域子育て支援拠点事業『ぬくもり』との協働</p> <p>保育所入所前の子供を持つ母親、出産前の母親や子育てに関心のある地域住民・ボランティアの方々が集まり、同じ年頃の子供を遊ばせたり、お母さん達の情報交換等を行い、子育てに対する不安を一人で抱え込まないようにすることを目的とし一年を通して、『ぬくもり』との協働で取り組みました。</p> <p>(1) 解放日 毎日(9:30~16:00)</p> <p>会場 南小国町地域福祉センターりんどう荘等</p>	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	実施日数(単位：日)	45	38	42	43	42	参加児童数(単位：人)	69(813)	57(607)	78(741)	53(532)	53(430)	ボランティア数(単位：人)	140(336)	132(280)	159(350)	135(264)	120(239)
年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年																					
実施日数(単位：日)	45	38	42	43	42																					
参加児童数(単位：人)	69(813)	57(607)	78(741)	53(532)	53(430)																					
ボランティア数(単位：人)	140(336)	132(280)	159(350)	135(264)	120(239)																					

事業名	事業目的	事業概要																		
<p>2 子育て支援事業 (赤い羽根共同募金事業) 【地域福祉推進】</p>	 <p>子育て広場き☆ら☆ら ぬくもり クリスマス会</p>	<p>(2) 主な取り組み 人形劇 (9/13)、ぬくもりと共同の誕生会・親子等の交流促進 (きららカフェ) 2回開催</p> <p>(3) 『ぬくもり』実績 親子 723名 (延べ) 利用日数 173日間 (※コロナ禍の為 3月実績無)</p> <p>子育て広場き☆ら☆ら 年度別利用日数・利用者数</p> <table border="1" data-bbox="842 440 1883 560"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用日数</td> <td>48日</td> <td>155日</td> <td>144日</td> <td>12日</td> <td>3日</td> </tr> <tr> <td>利用者数(延べ)</td> <td>409名</td> <td>426名</td> <td>388名</td> <td>181名</td> <td>136名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	利用日数	48日	155日	144日	12日	3日	利用者数(延べ)	409名	426名	388名	181名	136名
年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年															
利用日数	48日	155日	144日	12日	3日															
利用者数(延べ)	409名	426名	388名	181名	136名															
<p>3 地域包括ケアシステムの整備及び関係機関とのネットワーク強化 【地域福祉推進】 【居宅介護支援事業所】</p>	<p>役場・保健・医療・福祉等の関係機関の連携により効果的な援助ができるよう各種会議を開催し、町民が住み馴れた地域で、出来るだけ自立した生活が続けられるよう一人ひとりの日常生活を包括的に支えていく仕組みの整備を図ります。</p> <p>また、町内に既存する福祉事業所がより地域に密着した活動へとつながるように支援します。</p>  <p>福祉事業所との連携 小国高校生福祉施設体験</p>	<ol style="list-style-type: none"> 地域ケア会議への参加 (1回会議へ参加) 南小国町内の福祉関係者が集り、困難事例・福祉サービスを必要とする町民の方への支援策を協議し適切なサービス提供と課題解決に向け連携しました。 小国郷居宅介護実務担当者会議へ (5回会議へ参加) 2ヶ月に一回小国郷の福祉に携わる実務担当者が集まり開催、現在の福祉状況等の意見交換等を行い、ネットワーク強化、福祉の向上に努めた。 総合相談体制の充実 詳細 前述 22 ページ 総合相談体制の充実参照 小国郷医療福祉あんしんネットワークへの協力 (27回会議へ参加) 小国郷内の医療・介護関係者との連携を強化するために、ネットワーク会議等へ参加した。(再掲) 南小国町関係課との連携 (1) 南小国町関係課との連携、総合相談・総合支援の充実のため、関係課と社協による合同会議を開催 第1回 令和元年5月30日 於：役場会議室 福祉事業所との連携 町内に既存する福祉事業者が、より地域に密着し、住民に理解・必要とされる事業所となるように支援しました。 (1) 地域密着型福祉サービス事業の運営推進会議への参加 グループホーム森園、グループホーム福寿苑 (2) 事業所マップの周知 (ホームページに掲載) (3) 福祉事業所と地域住民との交流促進支援 (小国高校生福祉施設体験 (市原保育園、認知症カフェひとよこい、悠清苑、悠和の里)、グループホーム森園訪問 (子どもデイ)、りんどう荘訪問 (中原小) 等) 																		

事業名	事業目的	事業概要							
4 命のバトン事業 【地域福祉推進】	<p>主に一人暮らし高齢者や障がい者、近隣との交流の少ない環境の人たちが安心・安全を確保するため、有事に自分の情報をいち早く知ってもらうため、かかりつけ医や、急病など救急時、災害時の必要な情報を保管するためのケースを整備します。</p>	<p>1 命のバトンの整備 関係者と連携し、命のバトンの普及・更新に努めた。</p> <p>①新規設置 2件 ②更新 1件 ③登録者数66名（令和2年3月31日現在） 赤馬場 19名 満願寺 18名 中原 29名</p> 							
5 南小国町民生委員 児童委員活動の推進 【総務】 【地域福祉推進】	<p>地域福祉の担い手である民生委員・児童委員との連携を深め、協力し地域福祉を進めていきます。</p> <p>また、定例会・研修会等を開催し活動の支援を行ないます。</p>	<p>1 事務局運営</p> <p>(1) 定例会の開催（毎月第2木曜日）、視察研修の開催、各種研修会等への参加 (2) 民生委員児童委員、主任児童委員の活動の充実を図ること目的として活動支援を行なった。</p> <table border="1" data-bbox="898 667 1447 783"> <tr> <td rowspan="3">〔内訳〕</td> <td>相談・支援件数</td> <td>291件</td> </tr> <tr> <td>活動日数</td> <td>1295日</td> </tr> <tr> <td>赤ちゃんおめでとう訪問</td> <td>23件</td> </tr> </table> <p>(3) 要配慮者などの実態把握 (4) 町内各種会議・事業等への協力 (5) 民生委員児童委員一斉改選（再任4名 新任11名） (6) 一人暮らし高齢者高齢者への元気支援事業の共催 ふれあい昼食会、ふれあいバスハイク</p>  <p style="text-align: center;">赤ちゃんおめでとう訪問</p>	〔内訳〕	相談・支援件数	291件	活動日数	1295日	赤ちゃんおめでとう訪問	23件
〔内訳〕	相談・支援件数	291件							
	活動日数	1295日							
	赤ちゃんおめでとう訪問	23件							
6 地域障がい者 (児) 支援 【地域福祉推進】	<p>町障害者計画に基づき、町民への障がいへの理解を深めます。</p> 	<p>1 サポートセンター悠愛との連携 2 障がいに対する正しい理解と認識の普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小国高校への福祉教育推進（手話学習、障がい者とのスポーツ交流） ➤ 町内小学校での福祉学習会（認知症学習、車椅子、疑似体験、障がい児との交流等） ➤ イベント等での地域住民・障がい者との交流促進（晴ればれりんどうボランティアの日） <p>3 相談援助 必要な関係機関へ繋ぎ、福祉サービスの利用等へつなげ引き続き関係をもちながら支援を行った</p>							
7 認知症の人を支える 地域づくりへの協力 【地域福祉推進】	<p>認知症になっても住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる地域を目指し、関係機関と連携し認知症への理解をはじめ、声かけや見守り支援の充実を図ります。</p>	<p>1 認知症サポーター養成講座等の開催推進（再掲） 南小国町（福祉課）との共同で、認知症サポーター養成講座等の開催を推進 開催実績：3回開催 （内訳：8/21 福祉事業所向け、10/17 町内小学校5年生、2/7 中学生1年生）</p> <p>2 認知症見守り支援の手引きの配布（啓発） 南小国町住民自治組織関係会議にて説明し、見守り目配りハンドブックと認知症見守りポスターを全戸配布した。</p>							

6. 在宅福祉サービス事業（担当部門 在宅福祉サービス）

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、各種在宅福祉サービスが整備・充実されていることが重要であり、本会は、平成30年度も積極的に各種在宅福祉サービスに取り組み、利用者の立場に立ったサービス提供を行ってまいりました。

事業名	事業目的	事業概要																		
<p>1 福祉用具 車輦等貸与事業 【総務】</p> 	<p>虚弱な高齢者・障がい者、病気やけがをした人の送迎・介護など福祉機器等の使用を必要とする町民に対して、福祉機器・車輦を貸し出します。</p> <p>また、福祉用具・車輦の一部等は寄贈頂いたものもあり、寄贈いただいた方の意思にそえるように地域活動に活用していきます。</p>	<p>1 福祉サービス車貸出事業 (1) 利用料 1kmあたり 25円（保険料、燃料費として） ※70kmを超える距離については、1kmあたり 15円 (2) 実績 11件（昨年度37件）</p> <p>2 福祉用具等 貸出し実績 「主な貸出備品」 (1) 貸出件数 59件 <input type="checkbox"/>車椅子 <input type="checkbox"/>歩行者 <input type="checkbox"/>その他（炊出し釜・テント等） <input type="checkbox"/>ポータブルトイレ <input type="checkbox"/>高齢者疑似体験セット <input type="checkbox"/>点字盤 <input type="checkbox"/>レクリエーション器具 <input type="checkbox"/>介護ベット <input type="checkbox"/>かんたんテント <input type="checkbox"/>タッチアップ <input type="checkbox"/>ベッドサイドテーブル <input type="checkbox"/>炊き出し釜セット</p>																		
<p>2 外出支援サービス事業 (町受託事業) 【訪問介護】</p>  	<p>障がいや身体機能の低下等により、外出が困難な方に対して福祉車輦を用いて通院等の送迎を行なう。</p>	<p>1 対象者： 南小国町ケア会議にて認定を受けた南小国町在住の方 2 事業所： 南小国町地域福祉センターりんどう荘 3 使用車輦： 社協所有の福祉車輦 4 実績 利用者数 延 117名（昨年度142名） 事業収入 280千円（昨年度比較82%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績額（単位：千円）</td> <td>618</td> <td>444</td> <td>427</td> <td>340</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>前年度比（単位：千円）</td> <td>△179</td> <td>△174</td> <td>△17</td> <td>△87</td> <td>△60</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年10月より南小国町タクシー利用費助成事業が開始</p>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実績額（単位：千円）	618	444	427	340	280	前年度比（単位：千円）	△179	△174	△17	△87	△60
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
実績額（単位：千円）	618	444	427	340	280															
前年度比（単位：千円）	△179	△174	△17	△87	△60															
<p>3 権利擁護事業 (日常生活自立支援事業) 【地域福祉推進】</p>	<p>高齢化や病気、障がいなどで判断能力等が十分でないため、日常生活での福祉サービスの利用や、金銭管理がうまくできない方々の生活支援を目的に実施。</p>	<p>1 対象者 認知症や知的障がい、精神障がいにより、情報の入手や理解、判断、意思表示の能力が低下し、日常生活において福祉サービスなどの利用が本人ひとりでは適切に行なうことが困難な方 【支援内容】福祉サービス等の利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かり等 【支援体制】 担当職員と生活支援員（社協職員兼務）を配置し、小国郷内関係機関と連携を図りながら相談支援に努めた。また、県社協地域福祉権利擁護センターの指導監督の基、預金通帳等の適正な管理（預金通帳残高等の月次報告・点検）に努めました。 実績：利用者 7名（内新規1名）、相談援助 217回</p>																		


事業名	事業目的	事業概要
<p>3 権利擁護事業業 (日常生活自立支援事)</p> <p>【地域福祉推進】</p>		<p>2 預かりサービス事業 地域福祉権利擁護事業の契約までの間等に対応する事業として実施 サービス内容：預金通帳・印鑑等の保管、金融機関の払い出し及び支払い時等の同行支援 利用料：1回 900円 実績：利用者0名(相談援助0回)</p>
<p>4 生活福祉資金貸付事業 (県社協一部受託事業)</p> <p>【地域福祉推進】</p>	<p>低所得世帯、高齢者のいる世帯、障がい者のいる世帯等に、低利子で資金の貸し付けを行う。生活福祉資金調査委員会で、貸し付けの調査審議を実施する。また、延滞者については担当民生委員、県社協と協力し面接指導等を取り入れ、償還指導を積極的に進めていく。</p>	<p>1 福祉資金の種類 (1) 総合支援資金 (2) 福祉資金 (3) 教育支援資金 (4) 離職者支援資金 (5) 不動産担保型生活資金 (6) 臨時特例つなぎ資金 (7) 緊急小口特例貸付</p> <p>2 受託業務 (1) 福祉資金の受付や申請等にかかる事務(窓口業務) (2) 貸付や償還にかかる各種調査の実施や書類の作成 (3) 担当民生委員・児童委員や民児協と連携した償還指導や援助活動の実施</p> <p>3 貸付・受付実績 (1) <u>通常貸付件数 0件(相談件数 4件)</u> (2) <u>新型コロナウイルス対策特例貸付1件(受付期間 令和2年3月25日～令和2年7月31日)</u></p> <p>4 償還(返済)滞納者への個別訪問・面接指導の実施(※面接指導は実績なし)</p>
<p>5 一人暮らし高齢者への元気支援事業 (町補助事業)</p> <p>【地域福祉推進】</p>	<p>ひとり暮らし高齢者の孤独死防止及び災害時等で迅速に動ける体制を整備し、民生委員・地域住民で見守る体制を整備する。 また、孤独の緩和化を図るとともに社会活動への積極的参加を促進する。</p>	<p>1 ふれあいバスハイク・昼食会・配食サービスの実施 (1) ふれあいバスハイク (70歳以上独居高齢者 172名対象) 行先：熊本城、城彩苑 第1回 令和元年6月11日(火) (参加者 34名) 民生委員・ボランティア 9名、実習生1名 第2回 令和元年6月12日(水) (参加者 27名) 民生委員・ボランティア 6名、南小国中学生2名 (2) ふれあい昼食会 (70歳以上独居高齢者 174名対象) 令和元年11月7日(木) (参加者 73名) 民生委員・ボランティア 54名 会場 南小国町自然休養村管理センター 協力 南小国町民生委員児童委員 南小国町食生活改善推進員協議会 市原保育園</p> <p>2 安否確認・一人暮らし高齢者の実態把握 (1) 災害発生予測時等における電話等による安否確認の実施 (2) 民生委員児童委員協議会と連携しての実態把握調査・連絡先の調査</p>







ふれあいバスハイク
於：熊本城二の丸広場

事業名	事業目的	事業概要
6 第6回 小国郷介護員養成講座の開催に向けた検証及び準備 (小国町社協との合同開催) 【地域福祉推進】	在宅介護が増加しているなか、地域住民に対して介護について学ぶ機会を提供し、在宅介護の質を高め、介護に携わる人材育成などにもつなげる。	1 小国郷介護員養成講座の開催に向けた検証及び準備 (小国町社協との共同事業) 令和2年度開催に向けて、小国町社会福祉協議会と検討した。 コロナ禍の為、開催については、再協議し検討していく。

7. 各種団体等の事務受託と活動への協力・支援 (担当部門 事務局)

事業名	事業目的	事業概要																		
1 熊本県共同募金会 南小国町分会の事務局運営 【総務】 【地域福祉推進】  南小国中学生 赤い羽根共同募金運動	赤い羽根共同募金運動に協力。区会や自治会、役場、企業、学校等を通して募金活動を実施。集まった募金は、熊本県共同募金会に送金し、実績額に応じて次年度に配分される。また、募金額の実績報告、配分金の用途の情報公開及び良質な共同募金事業実施に努め、町民への理解を高め地域福祉推進の一助となるように努める。	1 赤い羽根共同募金運動 10月～12月 令和元年度募金実績額 <u>1,178,263円</u> (目標額 1,100,000円) 令和2年度配分金額 <u>948,263円</u> (令和元年度共同募金より) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績額 (単位:円)</td> <td>1,206,828</td> <td>1,227,035</td> <td>1,250,229</td> <td>1,136,445</td> <td>1,178,263</td> </tr> <tr> <td>前年度比 (単位:円)</td> <td>△135,644</td> <td>20,207</td> <td>△21,806</td> <td>△113,784</td> <td>41,818</td> </tr> </tbody> </table> 2 県共募の指導に基づいた適切な事務局運営 3 義援金の受付・管理・情報提供 (日本赤十字社と合同で実施) <input type="checkbox"/> 平成28年 熊本地震義援金 <u>¥ 9,023円</u> (令和元年度受付分) <input type="checkbox"/> 令和元年度台風19号豪雨災害義援金 <u>¥ 155,500円</u> <input type="checkbox"/> その他、適宜全国で発生した災害における義援金等の情報発信に努めた 4 共同募金データベースはねっとの管理 5 共同募金に関する情報提供 (社協だより『りんどう』76号、社協通信10月号) 6 災害見舞金の手続き (0件) 7 南小国町分会役員会の開催 (南小国町社会福祉協議会 理事会と併せて開催) 8 各種会議への参加 (1) 市町村共同募金会事務局長会議 (令和2年2月27日) ※コロナ禍の為中止 (2) 市町村共同募金担当者会議 (令和元年8月30日)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実績額 (単位:円)	1,206,828	1,227,035	1,250,229	1,136,445	1,178,263	前年度比 (単位:円)	△135,644	20,207	△21,806	△113,784	41,818
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
実績額 (単位:円)	1,206,828	1,227,035	1,250,229	1,136,445	1,178,263															
前年度比 (単位:円)	△135,644	20,207	△21,806	△113,784	41,818															
2 日本赤十字社 熊本県支部南小国分区の事務局運営 【総務】 【地域福祉推進】	日赤の社員からの社費の取りまとめへの協力、及び社員状況の管理等を行う。また、日赤活動等を町民へ情報提供し日赤事業への理解・関心を高める。	1 日赤の救援物資の管理を行い、災害時に適切に被災者へ救援物資を届ける。 (※救援物資保管場所 りんどう荘福祉サービスセンター) 救援物資 実績無 2 日赤県支部の指導に基づいた適切な事務局運営 (熊本県支部2年に1回 訪問指導) 3 義援金の受付・管理 (共同募金会と合同で実施) ※前述 熊本県共同募金会南小国町分会の事務局運営を参照																		

事業名	事業目的	事業概要																		
<p>2 日本赤十字社 熊本県支部南小国分区 の事務局運営 【総務】 【地域福祉推進】</p>		<p>4 日赤会費のとりまとめ及び社員管理 会費 一般社員 500円以上 特別社員 2,000円以上 法人社員 2,000円以上</p> <p>令和元年度実績額 528,000円 (昨年度比較6,000円増)</p> <table border="1" data-bbox="875 411 2123 587"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績額(単位:円)</td> <td>549,500</td> <td>538,500</td> <td>533,500</td> <td>522,000</td> <td>528,000</td> </tr> <tr> <td>前年度比(単位:円)</td> <td>△12,000</td> <td>△11,000</td> <td>△5,000</td> <td>△11,500</td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 日赤活動の情報提供(社協だより『りんどう』75号)</p> <p>6 各種会議等への参加 日赤事務担当者会議(平成31年4月19日)</p>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実績額(単位:円)	549,500	538,500	533,500	522,000	528,000	前年度比(単位:円)	△12,000	△11,000	△5,000	△11,500	6,000
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
実績額(単位:円)	549,500	538,500	533,500	522,000	528,000															
前年度比(単位:円)	△12,000	△11,000	△5,000	△11,500	6,000															
<p>3 老人クラブ連合会の 事務・事業への支援 【総務】 【地域福祉推進】</p>	<p>福祉活動を積極的に展開している老人クラブの活動支援の一環として事務局運営を支援する。</p>  <p>子どもの見守りパトロール (市原小学校 正門前)</p>	<p>1 南小国町老人クラブ連合会の事務局 支援 (1) 役員会の開催(3回開催) (2) 単位老人クラブ(17クラブ)への事務支援 (3) 各種会議等への参加(町老連役員・シルバーヘルパ研修等) (4) 老人クラブ傷害保険の加入促進及び保険請求事務への支援</p> <p>2 老人クラブ連合会事業への支援 (1) 黒川一泊研修(令和元年6月19-20日) 参加者 224名 (2) グラウンドゴルフ大会(令和元年5月30日) 参加者 68名 (3) 健康ふれあいスポーツ大会への協力(令和元年10月12日) 参加者約280名 (4) 子どもの見守りパトロール事業への協力 令和元年9月30日、10月7日・21日・28日 活動者数 61名 (5) 第24回 新春演芸大会への協力(令和2年2月8日) 参加者約200名 (6) 全国一斉社会奉仕の日への協力(令和元年9月15~21日) (7) その他、各種事業等への協力</p>																		

事業名	事業目的	事業概要								
<p>3 老人クラブ連合会の事務・事業への支援 【総務】 【地域福祉推進】</p>	 <p>シルバーヘルパー総会</p>	<p>3 シルバーヘルパー コスモス会への事務及び活動支援 (1) 総会の開催 (令和元年7月12日) 会員数27名 (令和2年4月1日現在) (2) 班長会の開催 (0回開催) (3) 地域の見守り等が必要な高齢者への友愛活動 (見守り・訪問活動)</p> <table border="1" data-bbox="884 435 1912 536"> <thead> <tr> <th>実働人員</th> <th>友愛活動件数</th> <th>活動日数</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78名 (延)</td> <td>169件 (延)</td> <td>165日 (延)</td> <td>96名 (延)</td> </tr> </tbody> </table>	実働人員	友愛活動件数	活動日数	対象者	78名 (延)	169件 (延)	165日 (延)	96名 (延)
実働人員	友愛活動件数	活動日数	対象者							
78名 (延)	169件 (延)	165日 (延)	96名 (延)							
<p>4 当事者団体・地域団体の支援 【総務】 【地域福祉推進】</p>	<p>障がい者の当事者団体や福祉活動を積極的に展開している各種団体を活動支援の一環として支援する。</p>  <p>ボランティア連絡協議会 役員会 炊き出し・どのう作り体験についての協議</p>	<p>1 障がい者 (児) 福祉事業 (1) サポートセンター悠愛と連携した障がい者等への相談支援 (実績8件) 内新規2件 (2) 障がい者等への相談支援 (生活困窮者等自立相談支援制度) (実績4件) 内新規1件</p> <p>2 福祉団体活動促進助成事業 (財源: 寄付金・社協会費・共同募金) 町内で活動する福祉関係団体等の活動促進の為の助成事業を実施 —指定助成団体— ① 南小国町民生委員児童委員協議会 (72,000円) ② 中原婦人会 (18,000円) ③ 南小国町食生活改善推進員協議会 (54,000円) ④ 南小国町更生保護女性会 (18,000円) ⑤ 南小国町ボランティア連絡協議会 (なずなの会) (72,000円) ⑥ 特別養護老人ホーム悠清苑 (100,000円)</p> <p>3 団体・地域活動の支援 町内で活動する福祉関係団体が企画・運営する事業を積極的に支援し、将来に渡り活動が継続していくように支援をおこなった。</p>								



ピンコロリ会 (新町地区)



馬場自治会 ふれあいサロン



湯田地区 (湯夢の会)
毎週月曜 19時30分～
いきいき100歳体操

8. 居宅サービス事業（介護保険・介護予防日常生活支援総合事業・障がい者総合支援法）

（担当部門 在宅福祉サービス）

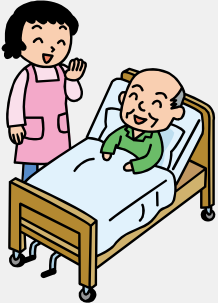
介護保険事業及び介護予防等の事業による総実績額は **86,826千円**（昨年度比較 約 99%）となった。介護保険分野における収入確保は、介護保険制度改正など影響もあり、今後も更に厳しくなってくるのが予想される為、新たなサービスの実施等の収益確保を図っていく必要がある。



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績額（単位:千円）	85,922	86,594	98,997	87,956	86,826
前年度比（単位:千円）	11,839	672	12,403	△11,041	△1,130

事業名	事業目的	事業概要
1 居宅介護支援事業 【居宅介護支援事業所】	要介護者が住み慣れた自宅で自立したその人らしい生活が出来るよう、心身の状況、置かれている環境、本人や家族の意向等を勘案して居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。	1 事業所名／所在地 りんどう荘居宅介護支援事業所（りんどう荘内） 2 内容 介護支援専門員（ケアマネージャー）を配置し、ご利用者本位の考えに立ち適切なサービス提供の支援をおこなった。 （1）介護支援専門員による相談援助 （2）居宅サービス計画（ケアプラン）の作成 常勤換算3名において、1,063名、月平均89名（昨年90名）のケアプランを作成し、介護保険請求額16,960千円（昨年度比較122%）となり、収入としては増額となった。今後も安定した収益を確保するためには、地域包括支援センター、行政、福祉施設や医療などの関係機関と連携を図り、本人、ご家族への支援を強化し、ケアプラン作成数の増に繋げるように努めていきます。 （3）居宅サービス事業者や介護保険施設・医療機関等との連携強化 （4）サービスの継続的管理と評価 （5）地域包括支援センター、福祉事務所、民生委員等との連携 （6）南小国町地域ケア会議、個別ケース検討会等への参加 （7）特定事業所加算の取得に向けた体制を整備（新規事業） <ol style="list-style-type: none"> 1. 常勤専従の主任介護支援専門員1名配置及び介護支援専門員2名配置 2. 24時間連絡体制を整備 3. 介護支援専門員の計画的な研修 4. 介護支援専門員実務者研修における実習生受入 5. 事例検討会、研究会議等の実施及び参加



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績額（単位:千円）	12,131	12,775	14,289	13,908	16,960
前年度比（単位:千円）	1,688	644	1,514	△381	3,052

事業名	事業目的	事業概要																		
<p>2 基準該当サービス 訪問介護事業 介護予防・日常生活支援総合事業 【訪問介護】</p>	<p>高齢者等の在宅での生活を支援するため、ご利用者宅に訪問介護員が訪問し、介護サービス等を提供します。</p> 	<p>1 事業所名／所在地 りんどう荘福祉サービスセンター（りんどう荘内）</p> <p>2 訪問介護事業 要介護の判定を受けた者に対し、利用者との契約により、ホームヘルパーを訪問介護計画に沿って派遣し、家事や介護の援助及び相談等を行った。 (1) ホームヘルパーの派遣（生活支援、身体介護）</p> <p>3 介護予防・日常生活支援総合事業 要支援1、2の判定を受けた者に対し、利用者との契約により、計画に沿ってホームヘルパーを派遣し、自立支援を目的とした援助及び相談等を行った。 (1) ホームヘルパーの派遣（生活支援）</p> <p>4 実績（訪問介護事業・介護予防・日常生活支援総合事業） ケアプランに基づき月平均29名（延348名）のお客様に常勤ヘルパーと非常勤ヘルパーで対応した。介護保険請求実績額は、<u>11,081千円</u>（昨年度比較約93%）と、昨年度より収入減となった。単独事業としては、非常に厳しい経営状況であり、複数の居宅サービス事業を展開していくことで事業の維持が出来ている状態である。高齢化率の高い本町では訪問介護の必要性も高くサービスの利用は増加傾向です。今後も利用者の確保、サービスの質向上に努めていくとともに、経費等の削減にも努めていき効率のよい事業体制を図っていきたい。</p> <table border="1" data-bbox="875 871 2092 994"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績額（単位:千円）</td> <td>9,859</td> <td>9,151</td> <td>9,314</td> <td>11,899</td> <td>11,081</td> </tr> <tr> <td>前年度比（単位:千円）</td> <td>893</td> <td>△708</td> <td>163</td> <td>2,585</td> <td>△818</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実績額（単位:千円）	9,859	9,151	9,314	11,899	11,081	前年度比（単位:千円）	893	△708	163	2,585	△818
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
実績額（単位:千円）	9,859	9,151	9,314	11,899	11,081															
前年度比（単位:千円）	893	△708	163	2,585	△818															
<p>3 通所介護事業 介護予防・日常生活支援総合事業 【通所介護】</p>	<p>高齢者等の在宅での生活を支援するため、通所介護事業所において介護サービス等を提供します。</p> <p>また、サービスの充実を図る上で年末年始を除く、土曜日・祝祭日の営業を行います。</p>	<p>1 事業所名／所在地 りんどう荘福祉サービスセンター（りんどう荘内）</p> <p>2 通所介護事業 要介護の判定を受けた者との契約により、通所介護計画に沿ったサービス提供を行った。</p> <table border="0" data-bbox="931 1203 1659 1417"> <tr> <td>ア. 入浴サービス</td> <td>イ. 食事サービス</td> </tr> <tr> <td>ウ. 日常生活上の援助</td> <td>エ. 健康状態の確認</td> </tr> <tr> <td>オ. 相談・助言</td> <td>カ. 送迎サービス</td> </tr> <tr> <td>キ. ケース検討会議等の実施</td> <td>ク. 苦情等の受付</td> </tr> <tr> <td>ケ. 栄養改善</td> <td>コ. 口腔機能向上</td> </tr> <tr> <td>サ. 個別機能訓練</td> <td></td> </tr> </table>	ア. 入浴サービス	イ. 食事サービス	ウ. 日常生活上の援助	エ. 健康状態の確認	オ. 相談・助言	カ. 送迎サービス	キ. ケース検討会議等の実施	ク. 苦情等の受付	ケ. 栄養改善	コ. 口腔機能向上	サ. 個別機能訓練							
ア. 入浴サービス	イ. 食事サービス																			
ウ. 日常生活上の援助	エ. 健康状態の確認																			
オ. 相談・助言	カ. 送迎サービス																			
キ. ケース検討会議等の実施	ク. 苦情等の受付																			
ケ. 栄養改善	コ. 口腔機能向上																			
サ. 個別機能訓練																				

事業名	事業目的	事業概要																		
<p>3 通所介護事業 介護予防・日常生活支援総合事業 【通所介護】</p>  <p>通所介護 初詣</p>		<p>3 介護予防・日常生活支援総合事業 要支援1、2の判定を受けた者との契約により、介護予防サービス支援計画に沿ったサービス提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. 食事サービス イ. 健康状態の確認 ウ. 相談・助言 エ. 送迎サービス オ. ケース検討会議等の実施 カ. 苦情等の受付 キ. アクティビティ実施 ク. 口腔機能向上 ケ. 運動器機能訓練 コ. 栄養改善 <p>4 実績（通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業） ケアプランに基づき令和元年度は306日（昨年度307日）事業を実施し1日平均23名（昨年度23.3名）のお客様に常勤職員8名と非常勤職員12名で対応した。介護保険請求実績額58,432千円（昨年度比較 約95%）の減額となった。安定した経営を行っていくうえでも、利用者の確保と更なるサービスの質向上及び職員の資質向上を図り適切な事業運営に努めていきたい。</p> <table border="1" data-bbox="860 746 2145 866"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績額（単位：千円）</td> <td>60,442</td> <td>61,616</td> <td>72,527</td> <td>61,695</td> <td>58,432</td> </tr> <tr> <td>前年度比（単位：千円）</td> <td>5,782</td> <td>1,174</td> <td>10,911</td> <td>△10,832</td> <td>△3,263</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実績額（単位：千円）	60,442	61,616	72,527	61,695	58,432	前年度比（単位：千円）	5,782	1,174	10,911	△10,832	△3,263
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
実績額（単位：千円）	60,442	61,616	72,527	61,695	58,432															
前年度比（単位：千円）	5,782	1,174	10,911	△10,832	△3,263															
 <p>福祉体験実習の受け入れ （南小国中学校職場体験学習）</p>		<p>5 職員資質向上研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 認知症介護実践者研修会（8日間） 1名受講 ● 認知症基礎介護研修会（1日間） 2名受講 <p>6 イベント等の開催</p> <p>（1）定期的に利用者向けのイベントを開催し、心の豊かさや生きがいの充足の機会の提供に努めた。 （例 大運動会、花見、杖立こいのぼり見学等）</p> <p>（2）福祉体験実習の受入（南小国中学生、小国中学生、特別支援学校生徒）</p>																		

事業名	事業目的	事業概要																		
<p>4 障がい者総合支援法 基準該当居宅介護等事 業の提供 【訪問介護】</p>	<p>居宅介護等事業者として町に登録し、利用者主体のサービス提供を目指すとともに、地域で利用者が自立して生活できるよう家事や外出等の日常生活を支援します。</p>	<p>1 居宅介護事業（ホームヘルプサービス） 町より認定を受けた者に対し、利用者との契約によりホームヘルパーを派遣し、家事や介護等の援助及び相談等を実施 （1）訪問介護の提供 （2）訪問介護計画の作成 （3）ケース検討会等の実施</p> <p>2 実績</p> <p>利用者数 4人 事業収入 <u>353千円</u>（昨年度比較 約78%）</p> <table border="1" data-bbox="920 504 2063 624"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績額（単位:千円）</td> <td>283</td> <td>226</td> <td>293</td> <td>454</td> <td>353</td> </tr> <tr> <td>前年度比（単位:千円）</td> <td>△25</td> <td>△57</td> <td>67</td> <td>161</td> <td>△101</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実績額（単位:千円）	283	226	293	454	353	前年度比（単位:千円）	△25	△57	67	161	△ 101
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
実績額（単位:千円）	283	226	293	454	353															
前年度比（単位:千円）	△25	△57	67	161	△ 101															
<p>5 南小国町地域包括支援 センターへの職員出向 【総務】</p>	<p>平成30年度から南小国町役場の直営となり、地域の高齢者の心身の健康維持、保健福祉医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的におこなう中核的な機能が発揮されるよう、本会職員を出向させ高齢者福祉向上に貢献します。</p>	<p>1 職員の出向 以下の資格を所持する職員を出向させた。 ➤ 主任介護支援専門員 1名 ➤ 社会福祉士 1名</p> <p>2 地域包括支援センターとの連携 高齢者の方々が、安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、地域包括支援センターと連携し、高齢者福祉向上に努めました。</p> <p>【主な連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 南小国町地域福祉総合実践計画の推進 ◇ 一人暮らし高齢者元気支援事業（ふれあいバスハイク、ふれあい昼食会） ◇ 民生委員児童委員との連携 ◇ ふれあいサロン交流会 ◇ 総合相談事業での連携 ◇ 地域ケア会議への参加 ◇ 小国郷医療福祉あんしんネットワーク ◇ 認知症カフェひとよこい 																		

資 料 集

1) 南小国町の概況(平成31年4月1日 現在 住民基本台帳調べ)

- 面積 115.88 km²
- 人口・世帯数 4,03,807名 ・ 1,666世帯
- 自治会・行政区 (32ヶ所)
- 教育環境 学校数 (平成31年4月現在)
- 小学校3校・児童数 176名
(内訳:市原97名 中原31名 りんどうヶ丘48名)
- 中学校1校・生徒数 90名
- 保育環境 町立保育園 3園・総園児数 130名(定員)

2) 福祉環境 (平成31年4月1日現在)

- 高齢率 41.2%
- 65歳以上の人口 1,568人
- 15歳未満人口 430人
- 民生児童委員 13名
- 主任児童委員 2名
- 老人クラブ数 17クラブ 会員396名 加入率25.2% (65歳以上の人口比率より)
- 一人暮らし老人数(65歳以上) 304人
- 高齢者夫婦世帯(65歳以上) 211世帯
- 生活保護世帯 14世帯
- 身体障がい者手帳交付数 272人
- 療育手帳交付数 69人
- 精神障がい者 20人
- 母子世帯数 39世帯(寡婦世帯も含む)
- 父子世帯 6世帯
- 要支援・要介護認定者数 339名

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
30人	22人	118人	54人	65人	30人	20人